

■ 村長あいさつ	02
■ 風間浦村を知る×	
歴史をつなぐ	03
温泉と文学をつなぐ	07
伝統をつなぐ	09
観光とイベントをつなぐ	11
自然をつなぐ	13
■ 風間浦村に住む×	
教育	15
漁業	17
環境整備	18
医療福祉	19
議会・行政	20
■ 風間浦村の未来×	
語る（対談）	21
■ 村民憲章・村のシンボル・ 風間浦村民歌・キャラクター	23
■ 資料編	24

人々の絆 をつなぐ

〈村勢要覧発刊にあたって〉

私たちの風間浦村は、壮麗で豊かな自然に恵まれ、村制施行以来130年を超える歴史を積み重ね、その歩みを続けて参りました。村政発展・民生安定のために心血を注がれました先人の方々の英知と努力に対しまして、深甚なる経緯と感謝を申し上げます。

時代は平成から令和と変わり、誰もが災害のない穏やかな時代を望む中、地球温暖化を要因とする大規模な自然災害が毎年のように地球規模で発生しています。また、令和2年1月我が国においてはじめて感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界的規模で感染拡大と変異を繰り返し、現在も終息が見えない状況となっています。当村においても、令和3年8月の豪雨災害により、想像を絶する大規模な土砂災害に見舞われ、国道が寸断され下風呂・桑畑地区が完全に孤立状態となりました。幸いにも、村民の迅速な避難により犠牲者はありま

せんでした。新型コロナウイルス感染症が拡大する中の豪雨災害ではありましたが、消防団をはじめとする近隣市町村からの人的支援や全国各地からのお見舞いのご支援をいただき勇気づけられましたことに深く感謝とお礼を申し上げます。多くの村民が甚大な被害を受け、自然の猛威に勝つことはできませんでしたが、すべての村民が共助の意識を持ち、絆を深めることができた災害でもありました。

風間浦村がこの豪雨災害と新型コロナウイルス感染症を乗り越え、人と人とのつながりをさらに深め、ここに住む人々が心豊かに、安心して生活できる地域づくりを村民皆様のお力添えをいただきながら目指してまいります。

この要覧には、風間浦村の歩み、現在の姿、そして未来への展望を取りまとめました。村民皆様がなお一層のご理解を深めていただければ幸いと存じます。

風間浦村長
富岡 宏

風間浦村誕生の概要と地名由来

風間浦村史編集専門委員 故 立花 勇

風 間浦村は、本州最北端の地、下北半島の北部に位置し、東は大赤川を境に大畑町に接し、西は折戸坂によって大間町に続き、南に山地を負い北は津軽海峡に面し、海岸線にそって東西に長くのびる漁村である。

本村は下風呂、易国間、蛇浦の三大字より成り、藩制時代この三大字はそれぞれ独立した3つの村であった。

本村東端にある下風呂は往古、湯元と称され古来温泉地として知られたところである。

ここには、大湯、新湯、ニヶ所の湧口があり、ともに硫黄泉であるが、大湯は金瘡及び打撲傷に、又新湯は婦人病や皮膚病にそれぞれ効能があるといわれ、藩制時代から多くの湯治客を集めてきたところである。

易国間は本村の中央部にあり、旧称湯澤野とよばれていた。かつて享徳・康正の頃（1445年前後）下北におこった蛎崎の乱のとき、蛎崎氏は軍馬兵糧を大陸より購入したが、それらを積載した船舶が当時湯澤野とよばれていたこの地に着船したと伝えられ、そのことにちなんでやがて異国の潤と呼びなされるようになり、乱終結後の地名更改により改めて湯

澤野を異国潤に、湯元を下風呂に、蛇沼を蛇浦にかえたといわれている。

また、一説によると、往古この地に蝦夷の酋長アシタカが居住し、この地を蝦夷語でエコンクマと称したので易国間の地名になったともいう。

次に蛇浦は本村の西端に位置し、古くは蛇沼と称したのが後、蛇浦と改められた。この地にはむかし塩を焼く（製塩のための）釜場があったといわれ、漁師たちはむかしからこの蛇の呼称を忌み、蛇浦の地名をきらい釜谷の通称を用いていたという。一説には釜谷は蝦夷語のカマ・ヤに由来する呼称で、カマは平らな岩、ヤは岸又は陸の意であるという。

（中略）

明治維新によって、下北半島は一時黒羽領となり、黒羽藩の支配を受けたが、明治3年旧会津藩の長男、主松平容大が斗南三万石に移封されるにおよび、その支配を受けるようになる。そして斗南藩がその領地である三戸郡の一部と上北下北を十区に分け、各区に戸長を置いたとき、下風呂は第八区に、易国間と蛇浦は第九区に属していた。

廃藩置県の後、明治4年田名部に青森県支庁が置かれたが、同六年に廃されそこに代わって第六大区役所が置かれることになる。この第六大区は5つの小区に分かれており、このとき下風呂は正津川・大畑と共に第三小区に属し、易国間・蛇浦は大間、佐井などと一緒に第四小区に編入されていた。

次いで明治11年の郡制施行によって、田名部に下北郡役所が、又村々にはそれぞれ戸長役場が置かれたが、同16年この各村々の戸長役場は廃され、旧小区毎に組合戸長役場が置かれることになり、明治22年の町村制施行まで続く。

明治維新より町村制施行までの地方行政の動きは誠に目まぐるしく変り、混乱を生みだしていたが、これも明治22年4月の町村制施行によってようやくおちつくことになる。制度的には、町村制の上に立った新しい近代のはじまりである。

こうして、本村も又明治22年4月をもって従来の下風呂村、易国間村、蛇浦村の三村を合し、その一字ずつをとって村名を風間浦村とし、今日にいたっているわけである。



易国間地区

風間浦村の歴史

（西暦）	（年号）	（事柄）
一八八九	明治22年	● 町村制施行し三ヶ村あわせて風間浦村誕生
一九〇三	明治36年3月20日	● 北通り方面の下風呂、易国間、蛇浦で漁業組合を設立
一九一五	大正4年1月4日	● 風間浦消防組を組織
一九三三	昭和8年10月1日	● 風間浦村で電話取扱を開始
一九三六	昭和11年	● 新庁舎完成（現在地）
一九三七	昭和12年9月11日	● 豪雨で新湯川決壊のため火災が発生
一九四四	昭和19年2月26日	● 風間浦村電話交換業務開始
一九四八	昭和23年2月23日	● 蛇浦中学校創立
一九四九	昭和24年5月23日	● 県立田名部高等学校易国間分校開校
一九五一	昭和26年12月23日	● 易国間漁協認可
一九五二	昭和27年11月1日	● 蛇浦漁協認可
一九五五	昭和30年10月7・8日	● 下風呂漁協認可
一九五九	昭和34年9月27日	● 易国間大火
一九六一	昭和36年4月4日	● 風間浦村教育委員会発足
一九六三	昭和38年4月	● 豪雨のため甲部落で崖崩れ
一九六四	昭和39年12月	● 台風15号襲来により易国間川が氾濫
一九六五	昭和40年2月	● 易国間地区中心部大火
一九六六	昭和41年5月	● 易国間地区簡易水道施設完成、給水開始
一九六八	昭和43年5月16日	● 蛇浦地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七〇	昭和45年4月1日	● 風間浦村共同火葬場新設工事竣工
一九七二	昭和47年4月	● 甲地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七三	昭和48年3月	● 易国間地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七四	昭和49年4月	● 下風呂地区簡易水道施設完成、給水開始
一九七五	昭和50年3月	● 易国間小学校鉄筋校舎新築
一九七六	昭和51年11月	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
一九七八	昭和53年5月	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
一九七九	昭和54年4月	● 蛇浦小学校100周年記念
一九八〇	昭和55年5月25日	● 桑畑分館完成
一九八二	昭和57年8月	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
一九八三	昭和58年5月13日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
一九八四	昭和59年7月22日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
一九八六	昭和61年3月	● 風間浦村章が制定される。
一九八七	昭和62年12月14日	● 蛇浦保育所開設
一九八八	昭和63年11月24日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
一九八九	平成元年1月18日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
一九九〇	平成2年4月1日	● 集中豪雨による大災害発生
一九九一	平成3年2月19日	● 下風呂保育所開設
一九九二	平成4年2月25・27日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
一九九三	平成5年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
一九九四	平成6年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
一九九五	平成7年10月1日	● 桑畑分館完成
一九九六	平成8年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
一九九七	平成9年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
一九九八	平成10年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
一九九九	平成11年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇〇〇	平成12年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇〇一	平成13年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇〇二	平成14年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇〇三	平成15年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇〇四	平成16年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇〇五	平成17年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇〇六	平成18年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇〇七	平成19年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇〇八	平成20年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇〇九	平成21年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇一〇	平成22年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇一一	平成23年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇一二	平成24年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇一三	平成25年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇一四	平成26年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇一五	平成27年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇一六	平成28年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇一七	平成29年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇一八	平成30年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇一九	平成31年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇二〇	令和元年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇二一	令和2年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇二二	令和3年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇二三	令和4年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇二四	令和5年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇二五	令和6年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇二六	令和7年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇二七	令和8年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇二八	令和9年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇二九	令和10年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇三〇	令和11年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇三一	令和12年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇三二	令和13年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇三三	令和14年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇三四	令和15年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇三五	令和16年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇三六	令和17年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇三七	令和18年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇三八	令和19年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇三九	令和20年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇四〇	令和21年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇四一	令和22年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇四二	令和23年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇四三	令和24年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇四四	令和25年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇四五	令和26年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇四六	令和27年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇四七	令和28年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇四八	令和29年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇四九	令和30年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇五〇	令和31年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇五一	令和32年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇五二	令和33年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇五三	令和34年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇五四	令和35年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇五五	令和36年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇五六	令和37年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇五七	令和38年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇五八	令和39年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇五九	令和40年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇六〇	令和41年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇六一	令和42年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇六二	令和43年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇六三	令和44年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇六四	令和45年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇六五	令和46年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇六六	令和47年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇六七	令和48年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇六八	令和49年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇六九	令和50年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇七〇	令和51年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇七一	令和52年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇七二	令和53年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇七三	令和54年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇七四	令和55年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇七五	令和56年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇七六	令和57年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇七七	令和58年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇七八	令和59年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇七九	令和60年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇八〇	令和61年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇八一	令和62年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇八二	令和63年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇八三	令和64年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇八四	令和65年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇八五	令和66年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇八六	令和67年10月1日	● 桑畑分館完成
二〇八七	令和68年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二〇八八	令和69年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二〇八九	令和70年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二〇九〇	令和71年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二〇九一	令和72年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二〇九二	令和73年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二〇九三	令和74年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二〇九四	令和75年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二〇九五	令和76年10月1日	● 下風呂保育所開設
二〇九六	令和77年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二〇九七	令和78年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二〇九八	令和79年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二〇九九	令和80年10月1日	● 桑畑分館完成
二一〇〇	令和81年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二一〇一	令和82年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二一〇二	令和83年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二一〇三	令和84年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二一〇四	令和85年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二一〇五	令和86年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二一〇六	令和87年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二一〇七	令和88年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二一〇八	令和89年10月1日	● 下風呂保育所開設
二一〇九	令和90年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二一一〇	令和91年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二一一一	令和92年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二一一二	令和93年10月1日	● 桑畑分館完成
二一一三	令和94年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二一一四	令和95年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二一一五	令和96年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二一一六	令和97年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二一一七	令和98年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二一一八	令和99年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二一九九	令和100年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二〇〇	令和101年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二〇一	令和102年10月1日	● 下風呂保育所開設
二二〇二	令和103年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二二〇三	令和104年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二二〇四	令和105年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二二〇五	令和106年10月1日	● 桑畑分館完成
二二〇六	令和107年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二二〇七	令和108年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二二〇八	令和109年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二二〇九	令和110年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二二一〇	令和111年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二二一一	令和112年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二二一二	令和113年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二一三	令和114年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二一四	令和115年10月1日	● 下風呂保育所開設
二二一五	令和116年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二二一六	令和117年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二二一七	令和118年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二二一八	令和119年10月1日	● 桑畑分館完成
二二一九	令和120年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二二二〇	令和121年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二二二一	令和122年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二二二二	令和123年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二二二三	令和124年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二二二四	令和125年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二二二五	令和126年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二二六	令和127年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二二七	令和128年10月1日	● 下風呂保育所開設
二二二八	令和129年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二二二九	令和130年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二二三〇	令和131年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二二三一	令和132年10月1日	● 桑畑分館完成
二二三二	令和133年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二二三三	令和134年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二二三四	令和135年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二二三五	令和136年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二二三六	令和137年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二二三七	令和138年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二二三八	令和139年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二三九	令和140年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二四〇	令和141年10月1日	● 下風呂保育所開設
二二四一	令和142年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二二四二	令和143年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二二四三	令和144年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二二四四	令和145年10月1日	● 桑畑分館完成
二二四五	令和146年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二二四六	令和147年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二二四七	令和148年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二二四八	令和149年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二二四九	令和150年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二二五〇	令和151年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二二五一	令和152年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二五二	令和153年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二五三	令和154年10月1日	● 下風呂保育所開設
二二五四	令和155年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二二五五	令和156年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二二五六	令和157年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二二五七	令和158年10月1日	● 桑畑分館完成
二二五八	令和159年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二二五九	令和160年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二二六〇	令和161年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二二六一	令和162年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二二六二	令和163年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二二六三	令和164年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二二六四	令和165年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二六五	令和166年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二六六	令和167年10月1日	● 下風呂保育所開設
二二六七	令和168年10月1日	● 易国間・下風呂小学校創立100周年
二二六八	令和169年10月1日	● 田名部高等学校風間浦分校開校となる。
二二六九	令和170年10月1日	● 蛇浦小学校100周年記念
二二七〇	令和171年10月1日	● 桑畑分館完成
二二七一	令和172年10月1日	● 国道279号線下風呂バイパス線完成
二二七二	令和173年10月1日	● 風間浦、易国間局電話がダイヤル式となる。
二二七三	令和174年10月1日	● 易国間診療所新築（歯科診療所含む）
二二七四	令和175年10月1日	● 風間浦村章が制定される。
二二七五	令和176年10月1日	● 蛇浦保育所開設
二二七六	令和177年10月1日	● 下風呂公民館（鉄骨）新築
二二七七	令和178年10月1日	● 桑畑地区簡易水道施設完成、給水開始
二二七八	令和179年10月1日	● 集中豪雨による大災害発生
二二七九	令和180年10月1日	● 下風呂保育所開設

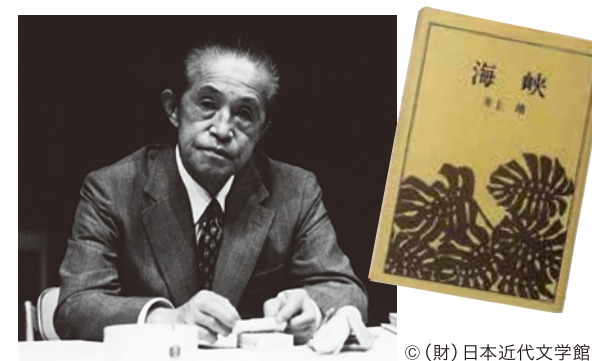
風間浦村の歴史

風間浦村の歴史		
(西暦)	(年号)	(事柄)
二〇二一	平成23年3月11～14日	●青森県全域で長期に渡り停電や国道が通行止め
二〇二二	平成24年2月1～2日	●交通死亡事故「0」の日継続17年 ●第20回風間浦中学校同志社交流 ●大雪によりむつ市・横浜町の一部国道が通行止め
	3月14日	●村内小中学校が臨時休校
		●三陸沖発生の地震により青森県太平洋沿岸に津波注意報発令
二〇二三	平成25年4月15日	●継続6千778日で交通死亡事故ゼロの日がスタート
	5月3日	●蛇浦海岸に産地直売所「ふのりちゃん」オープン
二〇二四	平成26年4月1日	●風間浦保育所指定管理
	6月15日	●新島襄海外渡航150周年記念事業
	8月	●風間浦小学校建設工事着工
	9月5日	●風間浦鮫鱈が地域団体商標登録
二〇二五	平成27年7月13日	●青森公立大学と連携協定締結
	10月31日	●蛇浦小学校閉校式
	11月14日	●易国間小学校閉校式
二〇二六	平成28年2月29日	●下風呂小学校閉校式
	12月15日	●風間浦村まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
	4月7日	●村内の街路灯LED化
	6月23日	●風間浦小学校開校式
	8月17日	●風間浦小学校・多目的グラウンド落成式
	9月9日	●台風7号による土砂災害2件
	10月23日	●下北ジオパーク認定
二〇二七	平成29年7月9日	●風間浦中学校創立30周年記念セレモニー
	11月22日	●福島県沖地震により津波注意報発令
		●村内全域955世帯・2千62人に避難勧告発令
		●ゆかい村観光ウニ園モニターツアー開催
二〇一九	令和元年8月8日	●災害時における応急対策業務に関する協定締結
二〇二〇	令和2年1月31日	●広報かざまうら500号達成
	10月16日	●第25回同志社創立者新島襄先生寄港の地碑 ●碑前祭
	11月9日	●風間浦村マスコットキャラクター「あんきもん」誕生
	11月30日	●ICT研修会開始
	12月1日	●ICT研修会開始
二〇二二	令和3年1月4日	●村のシンボル花・鳥・木に加え魚が制定される
	11月30日	●下風呂温泉「大湯」「新湯」閉館
	12月1日	●下風呂温泉「海峡の湯」開業
		●新漁協「風間浦漁協」が発足する
		●下風呂温泉「海峡の湯」開業から1ヶ月で1万人突破
	8月9日	●台風9号による大雨災害(土砂崩れ発生)
	8月10日	●下北・上北地方を中心に雨が降り出す
		●風間浦村全地区に避難指示発令・避難所開設
		●むつ市小赤川橋崩落・道路冠水と土砂崩れが発生
	8月11日	●下風呂地区を中心に断水・停電となる
	8月15日	●下風呂地区で621名・桑畑地区で100名が孤立
	8月17日	●青森駐屯地陸上自衛隊第5普通科連隊活動開始(物資の輸送・側溝の汚泥除去)
		●桑畑地区の避難指示解除
		●下風呂地区の一部で電気が復旧
		●国道の桑畑―下風呂地区間で片側のみ開通
		●全地区で電気が復旧
	8月23日	●赤川に仮橋「しもきた国土交通三日橋」が開通
		●青森駐屯地陸上自衛隊第5普通科連隊任務完了
	8月26日	●仮橋・桑畑―下風呂地区間で時間を限定し対象車両の通行開始
	8月27日	●下風呂浄水場の復旧完了
	10月16日	●下風呂地区で水道水の飲用可能へ
		●下風呂地区の避難指示解除・避難所閉所
		●下北地域観光再開セレモニーが行われる

温泉と文学をつなぐ

井上 靖 氏 [1907年生まれ | 1991年死去]

● 1950年『闘牛』で第22回芥川賞を受賞



© (財) 日本近代文学館

「井上靖文学碑」と「除幕式」での井上 靖 氏



文学碑に刻まれた『アカエリヒレアシシギ』の原稿（風間浦村所蔵）



井上靖氏の作品の中でも名作のひとつといわれ、「漁り火の見える温泉」として、風間浦村、下風呂温泉郷が世に知られるきっかけとなった小説「海峡」。

氏は下北半島を知人に紹介してもらい、昭和33年に下風呂温泉を訪れ、津軽海峡を見渡せる「長谷旅館」の一室に二晩宿泊しこの小説の最終章を執筆されました。

平成元年、風間浦村制施行百周年の記念事業として、井上靖文学碑を海峡いさりび公園の中に建設することになり、碑文を氏に依頼。氏は碑文の構成を練るため31年ぶりに来村され、執筆した当時のことを懐かしんでいました。

碑に刻まれた散文詩のタイトルは「アカエリヒレアシシギ」。厳しい津軽海峡に飛来する小さな渡り鳥たちの、生命力、対する人間の小ささが刻まれています。

村では、この文学碑の記念に、氏から頂戴した自筆原稿を大切に保管し、村の宝物になっています。



下風呂温泉『海峡の湯』井上靖ゆかりの客室展示

水上 勉 氏 [1919年生まれ | 2004年死去]

● 1961年『雁の寺』で第45回直木賞を受賞



© (財) 日本近代文学館

作家・水上勉氏の小説「飢餓海峡」。この小説の前半は、下北半島が舞台となっています。この「飢餓海峡」は氏の代表作となっており、何度も映画やドラマになっています。

小説を執筆するために、何度も風間浦村を訪れており、氏は風間浦村のことを「人間の荒寥（こうりょう）を表現するにもっとも適した土地」と言っています。

この小説のほかにも紀行文「わが山河巡禮風間浦の女（文庫ではわが山河巡礼 下北風間浦）」もあります。

その中で「飢餓海峡」を書いた後、風間浦村を三度訪れていることを記しています。新聞社の企画で、物語の舞台を歩き、その感想を書くというもので、若狭、越前、京都に材をとったものが多いにもかかわらず、氏は下北半島を選んでいました。

水上作品には、風間浦のような村や地域が舞台のものが多くありますが、そこで暮らす人々に対しては、温かく優しい目で見つめています。

氏は「私はここ（風間浦）が好きである。好きな理由は、とりわけここが日本の淋しさを代表しているからだ」と言っています。



掲載された「わが山河巡禮 風間浦の女」

下風呂温泉郷

津軽海峡に面し、本州最北端の温泉郷として知られる「下風呂温泉」。

歴史をさかのぼると室町時代より

刀傷に効く温泉として湯治客で賑わっていたといえます。

海の近くでは珍しい硫黄泉で、どこか懐かしい風情の温泉街で、作家の井上靖や同志社大学創立者の新島襄などにも

愛されました。津軽海峡に広がる漁火を眺めながらの温泉は幻想的で旅情をかき立てられます。



下風呂温泉タモリアルロード「足湯」

下風呂温泉『海峡の湯』

[2020年12月1日OPEN]



『外観』

『浴室(大湯・新湯)』

『浴室(井上靖ゆかりの湯)』

『展示場』

地元住民、観光客、湯治客に愛されてきた公衆浴場「大湯」「新湯」が閉館となり、新しく建て替えられた温泉施設が「下風呂温泉海峡の湯」です。

下風呂温泉郷の入り口に位置する施設は、目の前に津軽海峡が広がり、天気の良い日には北海道を望みながら入浴を楽しむことができ、夜には遠く沖合に灯る漁船の漁火を眺めながら温泉に浸かれます。

湯舟や椅子、風呂桶などには、日本三大美林の一つ、村産の「青森ヒバ」を使い、心地よい香りのくつろげる空間です。温泉は大湯の湯、新湯の湯、そして文豪・井上 靖 氏ゆかりの旧長谷旅館の湯があり、異なる泉質を楽しむことができます。

2階には、風間浦村とゆかりのある小説家・井上 靖 氏、水上 勉 氏、学校法人同志社の創始者・新島 襄 氏の資料などの展示コーナーや、風間浦村の歴史や産業についての展示コーナーがあり、心身の疲れを癒やし、いにしえに思いを馳せることができる施設となっています。

桑畑温泉『湯ん湯ん♪』



『外観』

『露天風呂』

2002年12月に桑畑小学校跡地に建てられた、日帰り専用の温泉施設です。国道沿いの高台に面しており、眺めが良いのが特徴です。

風呂は、内風呂と露天風呂があり、お温泉の湯は、白く濁っていてやや熱めで体の芯まで温めてくれます。

露天風呂からは湯に浸かったまま広大な津軽海峡の景色が眺められ、天気の良い日には海の向こうに北海道が見渡せます。また夜には、北海道の夜景とイカ釣り漁船の漁火が楽しめます。

伝統をつなぐ



八幡宮祭典

[8月 | 桑畑地区]

易国間字湯ノ上に鎮座する八幡宮は、享保年間(1716年～1736年)の勧請。1957年に「子どもに郷土愛と希望を持たせたい」と桑畑小学校の父兄会で作ったのが始まりと伝わっている船山車と、むつ市栗山の木工から伝授された神楽、その後神楽会が組織され作られた獅子頭が町内を練り歩きます。帰省中の人々も参加し、8月14日に宵宮、15日に例祭が賑やかに行われます。



折戸神社祭典

[8月 | 蛇浦地区]

折戸神社は蛇浦字赤平に鎮座し1617年の勧請。町から離れた折戸山の奥の院に安置されている神様は女神様で、昔火事があった時、空から火を消したと云われています。御神体は、例祭の時に厳肅に古式の作法で御神体の遷座式を行います。町内では、山車、子ども神輿、子どもねぶたが暗くなるまで練り歩き、蛇浦漁港では、灯籠流しや盆踊りなどが賑やかに行われます。



大石神社祭典

[9月 | 易国間地区]

大石神社は易国間字家ノ上に鎮座し勧請は1678年。易国間の船山車は、他の地区の山車とは少し違い「おこし舟」(漁師型ともいう)という舟の型を真似て作ったものです。威勢の良いかけ声とともに、襦袢姿の若者たちが船山車を引いて町内を練り歩きます。易国間漁港で行われる神事で大漁と安全が祈願され、神社鳥居前で行われる神楽演舞は見応えがあります。



若宮稲荷神社祭典

[10月 | 下風呂地区]

村内で唯一の秋祭り若宮稲荷神社祭典。起源は1657年(明暦3年)にまでさかのぼります。2日間に渡って行われ、神楽、神輿、船山車が町内を練り歩き祭を盛り上げます。夜には下風呂地区の家々に提灯が灯り、秋の夜に幻想的な灯りを醸し出します。2日目は激しい舞いが圧巻の「くるい獅子」で人々を魅了し、最後は全員で車座になり、賑やかにお囃子を奏で幕を閉じます。



いにしえの
伝統を引き継ぎ
厳かに 賑やかに



龍神祭の様子

龍神祭

[8月 | 下風呂地区]



下風呂地区で1884年から毎年8月26日と27日に行われてきた神事です。

初日は曹洞宗僧侶と船主全員が集まり、自由寺で祈祷会が営まれます。2日目は本祭です。漁船の海上安全と大漁を祈願して、船団が大漁旗をなびかせ海上運行し、沖合で僧侶が祈願札を海に沈める儀式を行います。

船団の先頭「御座船」はくじ引きで決め、御座船は1年間大漁に恵まれるという言い伝えがあります。



桑畑立石大明神

[5月 | 桑畑地区]



桑畑地区で、海の守護神「立石様」として古くから厚い信仰を集めている立石大明神。

漁港沿いの国道から南に2km、険しい山道の先に垂直に聳え立つ巨岩です。

その昔、時化と霧で視界を失った時、この岩の上が輝き、それを頼りに岸まで辿り着くことができたと言われています。

毎年5月8日に集団で山に入り、海での安全と大漁を祈願して参拝します。





青森県風間浦村は、本州最北端の地・青森県下北半島の北西部に位置する自然に恵まれた地域です。豊富な水産資源を中心とした漁業と下風呂温泉を活用した観光により発展してきました。

「下北ゆかい村」とは「湯」と「海」で、身も心も解きほぐしてもらいたいという意味をこめた、風間浦村の別称です。

風間浦鮫鯨感謝祭

[毎年2月初旬]



国内での知名度が上がり、地域団体商標へ登録されている地域ブランド「風間浦鮫鯨」が味わえるイベントが、2月上旬に下風呂漁港特設会場で開催されます。

イベントでは、生きたまま水揚げされた鮫鯨を使用した「鮫鯨汁」、「鮫鯨鍋」が数量限定で販売され、多くの人で賑わいます。

また風間浦村伝統の「鮫鯨の雪中切り実演」、「鮫鯨との記念撮影」など雪国ならではの催しが楽しめます。



ゆかい村海鮮どんぶりまつり

[毎年7月最終土曜日]

毎年7月の最終土曜日に下風呂漁港特設会場で開催されます。

会場では、新鮮な活イカ丼、うに丼、アワビ丼など贅沢なミニ丼が数量限定で販売されます。

下北近隣からの名産品の出店も人気があり、ゲームやコンサート、花火大会で会場を盛り上げます。



イベントスケジュール

- 2月初旬 風間浦村鮫鯨感謝祭
- 2月・3月 布海苔採り体験ツアー
- 5月 桑畑立石大明神(桑畑)
- 7月中旬〜11月 元祖烏賊様レース
- 7月最終土曜日 7月最終土曜日
- 8月 ゆかい村海鮮どんぶりまつり
- 8月 八幡宮祭典(桑畑)
- 9月 折戸神社祭典(蛇浦)
- 9月 龍神祭(風呂)
- 10月 大石神社祭典(易国間)
- 10月 若宮稲荷神社祭典(風呂)



布海苔採り体験ツアー

[毎年2月・3月]

厳寒の風間浦を楽しんでもらうイベントとして好評を得、冬の風物詩となっている「布海苔採り体験ツアー」。このツアーでは津軽海峡の磯場で布海苔採りを体験でき、採った布海苔はお土産として持ち帰ることができます。その後は、下風呂温泉で温まり、新鮮な海の幸を堪能する人気のツアーです。



元祖烏賊様レース

[毎年7月中旬〜11月]

活イカ備蓄センターで開催される、1周20mコースの水槽で活イカを泳がせ勝敗を競う「元祖烏賊様レース」。活イカを購入し、オーナーとしての参加と、イカの順位を予想する投票での参加もできるイベントです。思い通りに泳いでくれないイカを相手に奮闘するオーナーの様子に、会場は笑いに包まれます。



観光とイベントをつなぐ

風間浦村を知る



布海苔投石事業発祥の地記念碑



産地直売所『ふのりちゃん』

● 期間／4月中旬〜11月上旬 時間／9:30〜15:30



下風呂温泉から大間町に向かう国道279号線蛇浦地区の道路右手、津軽海峡海岸沿いの布海苔記念公園内にある産地直売所「ふのりちゃん」。専門に村の特産品を販売する場所がなかった風間浦村に、地元団体「かざまうら産直友の会」の皆さんが2013年にオープンし運営している唯一の産直施設です。風間浦村産の布海苔、昆布など海産物をメインに、野菜、山菜、ヒバ加工品などを販売。隣には広い駐車スペースとトイレも完備されており、観光客にも人気です。

風間浦村の名産品



風間浦村の名産品は、津軽海峡の荒波で育まれた海の幸を使った水産加工品と風間浦村の山林地帯に植生している青森ヒバを使った木工品などです。なかでも「風間浦鮫鯨」として売り出しブランド化を進めてきた鮫鯨は高品質、新鮮度の食材として評価が高まっています。津軽海峡産のイカは、刺身はもちろん、塩辛など加工品もお土産品として人気です。「青森ヒバ」の木工品は抗菌、防虫、リラックス効果などがあり、消臭剤、箸、家具など幅広く販売しています。

自然

をつなぐ



布海苔 (ジオサイト)



鯨鯢 (ジオサイト)



桑畑から津軽海峡を望む

下北ジオパーク

ジ オパークとは、地球・大地を意味する「ジオ」と「パーク」(公園)を組み合わせた言葉で、地質や景観が大切に守られ、暮らしと、自然と大地のつながりを、教育や経済活動に活用している地域のことです。

下北ジオパークは、2016年に日本ジオパークに認定されました。その特徴は、異なる3つの海に囲まれる半島で育まれてきた生態系や暮らし、海底火山、火山、堆積平野、非火山性山地からなる多様性のある地質群です。

その中で「風間浦ジオサイト」の特徴は、燧岳の麓にあり、背後に崖が迫り、前面には津軽海峡があり、低地が少ないながら海岸線の平地に住宅や温泉街があります。ですが崖の上には、かつて海底だった段丘が波浪によって平坦な土地となり、農地や学校、公園が整備されており海成段丘の恩恵を受けているエリアです。

風間浦ジオサイト

● 蛇浦段丘 (ジオサイト・文化サイト)

風間浦易国間地区から大間町にかけて海成段丘が発達しています。基盤は、静穏期に堆積した硬質頁岩層(大間層)と安山岩質凝灰角礫岩類(易国間層)です。隆起と海面の高さの変動によって数段の海成段丘が形成されました。蛇浦地区の沿岸部に発達する海成段丘は、主に津軽海峡の波浪によって大間層と易国間層が侵食されてできた海成侵食段丘です。

風間浦村では、段丘面は貴重な平地として産業、教育など広く活用されています。段丘面にある水田の一部には、風間浦小学校の「学習田」が設けられ、稲作体験学習が行われ、児童たちがもち米を育て、収穫し「もちつき会」を行い地域との交流に活用しています。

また、山からの転石を海岸線の浅瀬に投石することで布海苔が着生する布海苔養殖法が発案され、布海苔養殖発祥の地として沢の黒海岸に碑が建てられています。

● 下風呂 (文化サイト)

燧岳は、約120万年前に火山活動を開始。約80万年前に火砕流を大量に噴出し約50万年前には活動を終えました。

津軽海峡に面した風間浦村では海中にも溶岩が分布しており、下風呂温泉郷は海成段丘を活かした温泉街で硫黄を含む泉質を持っています。また、「風間浦鯨鯢」として知られるキアンコウは急峻な海底斜面に生息しており、港から漁場までの距離が短く生きたまま水揚げされ、鮮度の高さが好評です。

● 立石大明神 (文化サイト)

桑畑地区の燧岳の麓にそびえる立石大明神は、幅8m、奥行き10m、高さ25mの巨岩で、燧岳火山由来の溶結凝灰岩です。桑畑地区の住民には、「立石大明神」・「立石様」と呼ばれて古くから崇められ、毎年5月8日に地域住民を中心に、立石大明神を参詣し、酒や海の幸を捧げ、海上安全と大漁を祈願しています。



風 間浦村では、平成18年に3地区（下風呂、易国間、蛇浦）の3保育所が統合された「風間浦保育所」で多様化する保育、幼児教育のニーズに対応した保育サービスを行っています。平成28年に統合された「風間浦小学校」、平成元年に統合された「風間浦中学校」の小、中1村1校での連携した学校教育を行っています。村で平成27年に制定した「風間浦村教育大綱」にある「学ぶことを通し、郷土に誇りと愛着を持って未来を切り拓き、心豊かで夢や希望を抱いてたくましく生きる人づくり」を基本理念に掲げ、学校教育、人材育成を行っています。



● 風間浦保育所

平成18年に統合された施設で効率的な保育を実施するため保育事業の民営化を村が提案、「社会福祉法人みちのく福祉」が指定管理者として運営しています。施設には「地域子育て支援センター」を併設し、様々な保育サービスに対応しています。

木のぬくもりが感じられる施設で、一年を通して運動会、夏まつり、クリスマス会など四季折々の行事が開催され、子どもたちの楽しそうな笑顔と、元気な声が響いています。



● 風間浦小学校

平成28年に統合された新校舎は、災害時には緊急避難場所としての機能を備えています。

風間浦小学校では、発達段階に応じて授業にタブレットを積極的に取り入れて、ICTを活用した授業改善に取り組んでいます。

また、教育活動の中に特色ある体験活動（ふるさと学習）を位置付けて、ふるさとを愛する心、作業をやり遂げようとする態度などを学んでいます。



● 風間浦中学校

平成元年に統合。風間浦中学校では、タブレットを活用したICT教育の充実を図っています。総合的な学習時間には「新島襄と函館」について学習、風間浦村との歴史的つながりや関わりも学び、今後の進路選択に生かすことを目的に、函館で「職場体験学習」を実施しています。また、新島襄が創立した同志社との交流も深め「同志社中学体験入学」、「生徒会交流」や「同志社大学留学生との交流」などが開催されています。



学校法人同志社（本部・京都市）との交流

● 新島襄と同志社大学

京都に同志社大学の前身である同志社英学校を創立した新島 襄は、安中藩士の子として生まれましたが、アメリカに憧れを抱き渡航を決意、鎖国中の日本から船で開港地の函館へと向かう途中、荒天を避けて下風呂港に寄港し3日間滞在しています。後に当時の下風呂温泉の記述を「函館紀行」に残し、その史実を同志社交友会青森県支部が取り上げたことから、平成4年に下風呂の海峡いさりび公園に寄港記念碑が建立されました。これをきっかけに同志社との温かな交流が現在まで続いています。



● 同志社との交流

同志社大学の学生や留学生を風間浦村に招いて行われる小・中学生との交流や、風間浦中学校の二年生全員が同志社中学校を訪ねたり、また、同志社中学校の生徒会が風間浦中学校を訪れたりとの交流は年々深まっています。



佐 賀清太郎は1864年(元治元年)12月29日、下風呂温泉郷に誕生しました。佐賀清太郎は風間浦村の開拓の祖といわれた人物でした。

清太郎の祖父、根津屋こと佐賀平之丞は江戸末期に目名新田原野32ヘクタールを開拓し、そこに花巻から十三戸の移民を移植させ、農業に従事させました。しかし、厳しい自然と当時の技術の未熟さから脱落するものが相次ぎ、ついには八戸まで減り、結果不成功に終わりました。

そしてその再興を果たしたのが清太郎でした。清太郎は祖父の意志を継いで大金を投じて目名新田の再開拓に着手、ついにそれをやり遂げたのです。

また、祖父平之丞は布海苔養殖法を考案した人物でもあります。明治初年持ち船の冬囲いの際、引き起こし整理した岩石に布海苔が附着したのを見て投石による布海苔養殖法を考案、確立させました。その功績が認められ、1916年(大正5年)3月、祖父に代わり清太郎に下北郡水産会より功績状と銀杯が贈られました。

佐賀平之丞と清太郎が残してくれた遺産は今に受け継がれ、風間浦村の産業の礎(いしずえ)となりました。



開拓の祖 佐賀清太郎

新たな漁業の起点 「風間浦漁業協同組合」

津 軽海峡に面した海岸線に下風呂、桑畑、易国間、蛇浦の集落が点在しており、昭和24年に設立された下風呂、易国間、蛇浦の3漁協が村の漁業を支えてきました。

かねてより3漁協の合併や事業の提携による合理化が指摘されておりましたが、令和2年12月1日、その3漁協が合併し、「風間浦漁業協同組合」として村の漁業の新たな起点となりました。

漁としては、イカ、たこ、こんぶ漁など近海漁業が中心ですが、漁獲量は年ごとの変動が大きいので、従来の漁業にとどまらず、ナマコやウニの養殖事業、また常時300匹ものイカを生きたまま備蓄できる水槽を持つ「活イカ備蓄センター」、「水産物開発販売振興協議会」などと連携をはかり地域活性化に取り組んでいます。

さらに、品質が良く漁場が近く生きたまま水揚げされることで注目されている鮫鯨漁にも力を入れており、「風間浦鮫鯨のブランド化」をはじめ、漁期である冬の観光と結びつけたイベント開催など「冬季間の観光振興」を目指した事業も進んでいます。



風間浦警察官駐在所



風間浦消防分署



桑畑公民館



中央公民館



蛇浦公民館



下風呂公民館



野球場(海峡の里スポーツ公園)



村民憩いの森公園



蛇浦ゆりの駐車帯

● 環境美化

美しい自然、景観に恵まれた風間浦村では、自然環境を生かした「海峡の里スポーツ公園」や「村民憩いの森公園」などが整備され村民に親しまれています。また、海岸に漂着した木くずやプラスチック類を業者又は地域住民ボランティアを活用しながら回収、処分します。また、学校や公共施設周辺の緑化整備など美しい村の環境を維持していくために、様々な事業を実施していきます。

● 簡易水道

風間浦村簡易水道事業は、3つの地区(易国間・蛇浦地区、下風呂・甲地区、桑畑地区)に構成され安定的な供給を行っています。一方で、多くの施設で老朽化が進んでおり、安全で良質な水道水を安定して供給するために、水道施設、管路の計画的な更新、耐震化を進める必要があります。施設、管路の健全化を維持していくために、中長期的な計画を策定し持続可能な水道事業に取り組んでいます。

● ごみ処理

風間浦村のごみ処理は、燃えるごみ・燃えないごみ・ビンなど、細かく分別したごみを曜日ごとに分けて収集し、むつ市の下北地域一般廃棄物処理施設「アックス・グリーン」で、下北地域市町村のごみの共同処理が行われています。アックス・グリーンでは、ごみは焼却するのではなくガス化・溶融します。焼却灰は発生せず、再生利用可能な副生成物として回収されます。

● 防災

近年全国各地で震災や集中豪雨による災害など想定を上回る災害がおきています。村でも防潮堤や河川堤防などの構造物で災害を未然に防ぐ対策を推進してきましたが、近年の災害のように構造物だけで抑えきれず、人命を守るため逃げることを重視した防災対策も進めていかなければなりません。

そのため村には、広域常備消防による「大畑消防署風間浦消防分署」が設置されており、本団と4分団の消防団員で村の安全を守っています。消防分署では、火災の予防、鎮圧することと人命を守るための救助活動を責務として活動していますが、そのために大掛かりな避難訓練や消火訓練、情報伝達、炊き出し訓練などで非常時に備えて各種活動を実施しています。

● 交通

風間浦村へのアクセスは、国道279号が村と村外を結ぶ連絡道路で、観光・経済・文化においても重要な路線です。国道279号の代替道路の整備が待たれるところです。むつ市までの約40kmは、下北交通のバス路線が結んでいます。船では、函館から大間まで東日本フェリーが利用できます。村では、交通安全対策にも力を入れ、その一つに「風間浦村交通安全母の会」を結成、安全運動の実施や啓発活動を行っています。

● 情報通信環境

全国各地では近年大規模な災害が発生し、災害情報の伝達の高度化することが要求されています。そのような中で風間浦村では、防災行政無線設備デジタル化整備事業を進めています。親局設備をはじめ、屋外スピーカー及び各家庭に設置している戸別受信機などを整備し、災害時でも確実な情報伝達ができるようにします。また下北5市町村と青森放送株式会社と「地域防災パートナーシップ協定」を締結し、村内で災害や事故が発生した場合や予想される場合に、情報を村の要請に基づきテレビやラジオで放送し、災害の軽減を図り安全を確保します。

医療



風間浦診療所

下 北地域では1市1町3村で「一部事務組合 下北医療センター」を構成し、下北地域の医療体制を構築しています。下北地域の中核病院として高度な医療を提供する「むつ総合病院」を中心に3病院と9診療所で診療を行っており、風間浦村では「国民健康保険 風間浦診療所」が、風間浦村地区唯一の医療機関として初期医療の提供しています。

医療の他にも、村主催の事業である「ノルディックウォーキング健康づくり教室」に参加及び呼びかけに協力するなど、地域住民の健康推進に積極的に取り組んでいます。

風間浦診療所と共に、隣接する大間町の「国民健康保険 大間病院」や、交通のアクセスが良い函館市の医療機関の利用も多く、こうした医療機関が村民の健康を守っています。



ノルディックウォーキング



いきいき教室

福祉



風間浦村総合福祉センター「げんきかん」

風 間浦村の65歳以上の高齢人口の高齢化比率は年々高くなっており、今後は高齢者福祉サービスが、日常生活の場で適切に提供できる体制がさらに必要になると予想されます。村では「風間浦村総合福祉センターげんきかん」でサービスを提供しており、げんきかん内の「地域包括支援センター」が高齢者やその家族、地域住民の身近な窓口となり、保健・医療・介護・福祉など様々な方面から総合的に支援しています。また村では、フレイル（介護が必要になる一歩手前の状態）を予防して健康寿命を延ばすことを目的に、予防に必要な運動・栄養・社会参加を取り入れた「風間浦いきいき教室」などを開催し、健康でいきいきとした生活が送れるよう取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症対策

風間浦村では新型コロナウイルス感染症に関して、風間浦診療所スタッフを中心にいち早くワクチン接種体制を構築し、早い時期に希望者全員の2回接種を完了しました。



議会組織図



● 議会

風間浦村議会は、村民から選ばれた8人の議員で構成されています。議会では条例制定・改廃・予算及び決算認定などの議決の他、請願・陳情の審査などについて、議員は村民にかわり村長から提案された議案などの審査を通じて、村民の生活がよりよいものとなるよう議論し決定しています。

本会議は、議員全員で予算案をはじめとする議案などを審議したり、議会の最終的な意思を決定する重要な会議で、定期的に行われる定例会（3月・6月・9月・12月の年4回）と必要に応じて開かれる臨時会があります。

議会で話し合われた内容は「かざまうら議会だより」として発行され、審議内容について知っていただくなど住みよい村づくりに向けに取り組んでいます。

村議会議員



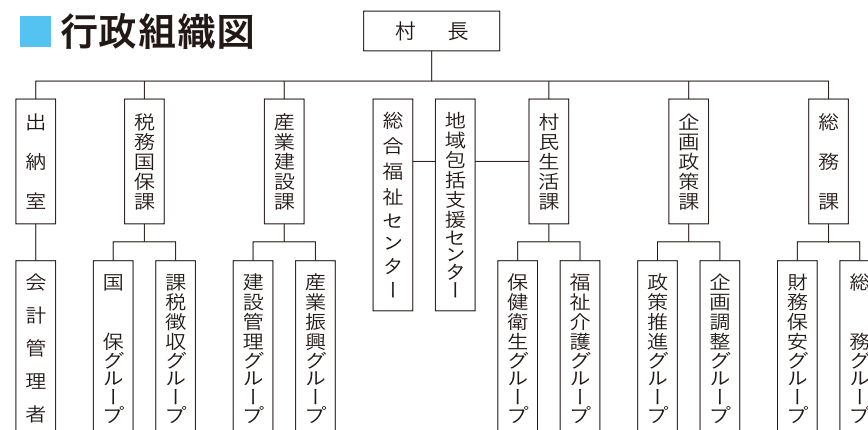
杉山 太 議長 平井賢一 副議長 中嶋 茂 議員 蛸島 巨 議員 飯田さつき 議員 能登勝彦 議員 金森一規 議員 北館智明 議員

● 行政

風間浦村の行政組織は現在、総務課・企画政策課・村民政策課・産業建設課・税務国保課の5つの課と出納室によって構成され、住民サービスに迅速に対応しています。

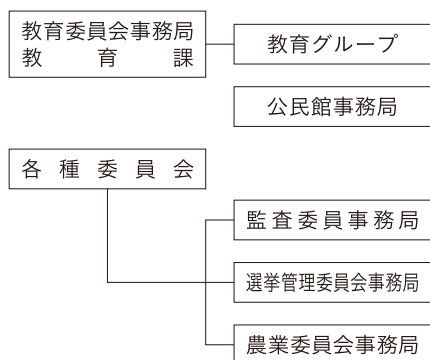
行政委員会としては、教育委員会事務局教育課・監査委員会事務局・選挙管理委員会事務局・農業委員会事務局が設置されています。下北医療センターの管理運営などは、一部事務組合下北医療センターにおいて運営し、消防に関する事務、知的障害児施設に関する事務、ごみ処理及びし尿処理に関する事務などは、下北地域広域行政事務組合において運営しています。また行政の内容や重要なお知らせ、旬の話題などは「広報かざまうら」に掲載し、毎月すべての世帯に配布しています。

行政組織図



富岡 宏 村長 村上 純一 教育長

行政委員会





富岡村長と風間浦中学校3年生の生徒で語る会が開催されました

■ 道路沿い、海岸のゴミについて

—— 砂浜、道端にゴミが捨てられています、村民でのゴミ拾い活動は行わないのでしょうか。（学生より／以下同様）

今は、コロナの感染拡大で、大々的に出来ていませんが、毎年春に各地区の婦人会でゴミを集め、役場の職員が回収する作業は行っています。また、海岸線のゴミは国の補助事業を使い、自分たちの生活を守る、海を守るということとで漁師の皆さんにお願いをし、作業してもらう事業を数年行っています。ボランティアとして金融機関、電力の方々が率先してゴミ拾いを行っていただいています。これからも引き続き、婦人会、漁協にもお願いし村も参加し行っていければと考えています。（富岡村長／以下同様）

—— 風間浦中でも村の人たちと話し合いゴミ拾いに参加できればと思います。

■ 廃校になった学校の活用方法

—— 各地区の廃校になった小学校の活用はどのように考えていますか。

下風呂小学校の校舎は避難所として活用しています。また文化財の保管にも使用しています。易国間小学校は危険校舎のため時期を見て解体いたします。跡地は津波の被害を想定し利用法を考えていきます。体育館と横のトイレは易国間地区

のコミュニティーの場として活用できればと考えています。蛇浦小学校は災害時の避難所として活用していきます。

■ イベントについて

—— 釣り人が多いので、釣りの大会などのイベントを開いてはどうでしょうか。

イカ釣り体験などは行っていましたが、乗せてくれる人、船の数も少なくなかなかできない状況です。漁港でゆったり、釣り堀の区画を作ってゆったり可能性はあるのでアイデアを検討していきたいと思います。



■ 災害復興について

—— 災害で海が濁る環境の問題やコロナの中での観光の問題などの中、最優先で取り組んでいることは何でしょうか。

災害の復興は道路の種類、斜面などでそれぞれ管轄が違い窓口がたくさんあり、なかなか進みませんが、国道に関しては2022年中に対面通行ができるように進めています。村が優先的にやらなければならないのが下風呂地区の水道です。まだ仮設の施設を使用していますので、国の災害の査定が終わりしだいすぐ工事に入りたいと考えています。

—— 災害で溜まった海岸線の土砂の撤去予定は。

県には要望していますが、大きい時化での海岸の様子など考慮しながら、また道路の工事の進捗状況を見ながら土砂の撤去作業を進めていくということで時間がかかりそうです。

—— 災害時の情報提供を確立してほしい。

防災無線は使っていますが、雨の音で聞こえないという話もありますので今後、先にサイレンを鳴らし気を引いてから放送します。またテレビなど電波の状況で県内の放送を見られない地区もあるので解消していきたい。また避難所独自で見られる体制を構築する予定です。SNSなども活用して情報を発信し共有できるようにしていきたいと思います。

■ 海峡の湯二階利用について

—— 海峡の湯の二階があまり利用されていないようなので、活用方法をアンケートなどで募集してみたいかでしょうか。

海峡の湯については国からお金を借りているのですが、国の決まりで使い方が限定されています。二階のスペースは文化面とか、コミュニティーに使用する場で、村では様々なことに利用するスペースとして確保しました。その中で、地元の説明会などで出た案の一つに、子供たちの祭りの練習に貸し出せば音色で観光客の温泉への呼び込みにもつながるのではないか。という案がありました。

また二階には、村と交流がある同志社の創設者新島襄や下風呂温泉とゆかりのある井上靖のコーナーがありますが、予定では旭川にある井上靖文学館の風間浦村での企画展や、同志社との交流30周年記念として講演会など計画していました

がコロナでまだやれていない状況です。海峡の湯にはアンケートを置いて利用客、観光客の声は聴くようにしていますので海峡の湯に限らず色々な意見を反映していければと思います。

—— 二階の利用方法で私たちの中で出た案では勉強スペースを設けたら中学生も高校生になっても利用しやすいと思います。また、公民館の図書室があまり利用されていないようですので本を海峡の湯に移動すれば利用しやすいのではないのでしょうか。

海峡の湯を建てる時に、公民館と一緒にしてはという意見もありました。でも、大勢の人が来ている一階の上で静かに会議を行うのは厳しいのかなと。また、駐車場の確保のことももあり分けた建物になりました。

二階には本棚があり、今は井上靖、新島襄、水上勉などに関連する寄贈された図書しか展示していませんが、風間浦にゆかりのある本などを中心に増やしていきたいと思っています。夏休み、土日などでイベントのない日は机、椅子もあるので勉強できるスペースは確保できると思いますので教育委員会と協議して勉強できる場を作っていきたいと思っています。

■ 湯ん湯んについて

—— 夜8時までだと仕事などで間に合わない人もいますので営業時間を少し長くできないでしょうか。

コロナで営業時間を短縮しています。湯ん湯んも海峡の湯も時間延長の要望はありますので検討していきたいと思っています。

■ バイクで旅をしている人について

—— バイクで風間浦を通りフェリーを利用している人がたくさんいますが、フェリーと連携して風間浦に泊まれば割引などをやれば活性化につながるのではないのでしょうか。

バイクも、フェリーもお客さんが少なく困っているので、フェリーと温泉のセットで割引などフェリーと観光協会、旅館組合と協議したいと思っています。

語る会は、生徒のみなさんの村への、そして地方自治への意見や質問を発表し、和やかな雰囲気の中にも熱い思いが伝わるディスカッションの場となりました。



村民憲章

[平成元年3月25日制定]

わたくしたちは、緑の山、豊かな海、きれいな川に恵まれ、歴史と文化を大切にする風間浦村の村民です。
わたくしたちは、いつまでも郷土風間浦村を愛し、幸せを願い、健康で明るく住みよい村をつくるために、この憲章を定めます。

- 一、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 一、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 一、わたくしたちは、青少年に希望を、老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
- 一、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 一、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

村のシンボル

[平成元年3月25日制定]



花

[はまなす]

- 潮風に強く、風間浦村の風土にあっている。
- 昔は、風間浦村の海岸沿いに、多く群生していた。



木

[ひば]

- 古くから風間浦の産業基盤として村民の多くがその恩恵をうけた。
- 風間浦の山々に多く植生し、村民のだれにでも親しまれている。



鳥

[かもめ]

- 村内どこにでも見られ通称「ごんべ」としてよく知られている。
- 漁業を象徴する鳥である。



魚

[あんこう]

- 地域団体商標にも登録され村を代表する魚である。
- 「あんこう」主体の行事もあり、村民に広く親しまれている。

風間浦村民歌

作詞／横山あきら 作曲／板谷 隆
編曲／清水美知男

『おゝ我らが郷よ』

津軽海峡 あけぼのに
はばたく白き うみどりよ
祖父の拓けし この大地
天与のめぐみ ゆたかなる
おゝ我らが郷よ 風間浦

熱き情は 燃えたぎる
いで湯となりて 地に湧かん
理想を高く かかげつつ
共にはげみて 築きゆく
おゝ我らが郷よ 風間浦
千古の樹林 枝ゆらす
波のうねりの たゆまざる
風の息吹の たのもしく
集いてなごむ もろびとに
おゝ永久に幸あれ風間浦

『風間浦音頭』

サアー南部下北 風間浦
人のこころの めくもりが
とけて流れる 湯けむりに
心安まる 花が咲く
いでゆ下風呂 情の湯
ソーレソレソレ 情の湯

サアー南部下北 風間浦
高松山の いただきに
流れる雲の 影うつし
緑したたる 溪流の
易国間川の 水清か
ソーレソレソレ 水清か

サアー南部下北 風間浦
蛇浦海岸草島や
一本松よ さびしかろ
誰か植えてよもう一本
添えりゃ似合いの夫婦松
ソーレソレソレ 夫婦松

サアー南部下北 風間浦
つかずはなれず 二見岩
愛のさざ波 すそ濡らす
汐騒やさし さゝやけば
沖の漁火 恋あがり
ソーレソレソレ 恋あがり

サアー南部下北 風間浦
鎮座まします 立石の
衣見事に あやにしき
りんご茸に ひば林
山は桑畑 唄が出る
ソーレソレソレ 唄が出る

サアー南部下北 風間浦
津軽海峡 岸洗う
波のしぶきの 折戸浜
かもめ群れとぶ いさり舟
ゆれるハマナス 夢さそう
ソーレソレソレ 夢さそう

キャラクター

- 風間浦村マスコットキャラクター『あんきもん』



名 前／あんきもん
出 身 地／津軽海峡風間浦沖
性 格／マイペースで温厚、
くいしんぼう
趣 味／温泉めぐり
好きなもの／風間浦村の海の幸
(特にイカ)
嫌いなもの／刺し網

2021年
風間浦村資料編